



# 平成26年度 事業計画書

平成26年7月1日から 平成27年6月30日まで

特定非営利活動法人 国際インフラパートナーズ

## 1 事業実施の方針

広く世界の人々のために、社会経済基盤施設（インフラストラクチャー）の整備・管理に関する事業等を内外の関係者と協力連携して行い、開発途上国等の国土整備・管理に協力することにより、地球の環境に配慮し持続可能な社会経済の発展を実現する活動を行うことを方針とします。

- ① 経済技術協力事業では、実施中のミャンマーの草の根事業を成功裡に終了し、引き続き案件をフェーズ2として受託を目指します。  
当会としては、フェーズ2のスタートが遅れる見込みもあり、他の案件にも前向きに対応する方針です。
- ② 技術移転等事業として、簡易舗装技術などの紹介、翻訳事業などを継続していく方針です。
- ③ 技術交流事業として来日技術者との交流を機会をみつけて実施する方針です。
- ④ 相互理解・友好関係の増進事業として、会員内のコミュニケーションを図っていく方針です。

また、新規の会員（個人正会員、個人賛助会員、法人賛助会員）を増やしていきます。

現在草の根事業を通じて、日本道路協会と協同して技術委員会を組織し協力しています。今後とも関係ある団体と連携協力を図っていく方針です。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) 開発途上国等支援のための経済技術協力等事業	JICA草の根支援事業「ミャンマー国雇用促進のための労働集約型道路整備に関する人的資源開発事業」の実施、橋梁関係協力の推進、等	2014.7 ～2015.6	ヤンゴン 社トロー エーヤワデー 東京	88 内、日本18、 ミャンマー側26	業務参加者、 簡易路面処理 技術マニュアル対象 地域住民、 1,500万人 (人口の1/4)	2,000
(2) 同、技術移転等事業	簡易路面処理技術の紹介、わが国舗装技術書の翻訳事業の継続	2014.7 ～2015.	東京他	2	—	—
(3) 同、技術交流等事業	来日技術者との交流。内外の技術者との技術情報の交換。	2014.7 ～2015.	東京	6	—	—
(4) 同、相互理解・友好関係の増進事業	社会に対して啓発・広報活動に力をいれる。社員間で情報・意見交換会を引き続き実施。情報システム環境の整備。	2014.7 ～2015.	東京	30	30	10

### (2) その他の事業

特になし。